

写真でみる昭和の横浜①  
中区役所

市史資料室が所蔵している写真、収集した写真を、順次紹介していきます。



桜木町1丁目横浜興産館時代の中区役所、手前の橋脚は工事中の国鉄根岸線 1961年4月 広報課写真資料(横浜市史資料室所蔵)

横浜市は、一九二七(昭和二年)四月周  
辺九町村を合併、同年二〇月には区制を  
施行し五区が誕生した。そのうち、中区  
は三〇年の人口が横浜市の五三%を占め  
る巨大な区となった。最初の区役所は、市  
役所庁舎の中に設置された(告示一八四  
号)。この庁舎は、関東大震災で倒壊焼失  
した跡に建てられた木造二階地下一階の  
建物であった。

戦時期になると、中区の人口の多さや  
木造庁舎への同居は、防災上などで問題  
となった。そして、一九四二年(昭和一七)三  
月、桜木町二丁目二番地へと移転すること  
となる(告示第十九号)。移転先は、二九  
年三月に竣成した中央授産所の建物で、  
鉄筋コンクリート三階建、二階には横浜興  
産館、二階は貸広間や貸事務所、また二階  
と二階に桜木町公衆食堂が入り、授産所  
は三階を使用していた。この移転により



住吉町4丁目旧横浜銀行本店時代の中区役所 1977年10月 広報課写真資料(横浜市史資料室所蔵)

中央婦人授産所などは閉鎖された。

次に区役所が移転したのは、高度経  
済成長期の一九六二(昭和三七)年一〇月二  
日、場所は住吉町四丁目であった(条例  
第三号、規則第六三号)。理由は、建物の  
老朽化と現区役所が桜木町駅前という  
ことで地元から払い下げの要望が出され  
ていたことなどであった。新庁舎は、新社  
屋に移転したあとの横浜銀行本店を購  
入して充てられた。この建物は、三八年に  
横浜興信銀行本店として建てられた三  
階建てで、後に増改築により四階建てとな  
っていた。

一方、空き家となった旧区役所の建物  
は、六四(昭和三九)年から市民ギヤラー  
として利用されることとなったが、七四年  
に市民ギヤラーが教育文化センターへ  
移転すると、同年に解体された。

その後、中区役所は、再度、庁舎の老朽  
化・狭隘化という問題にぶつかることとな  
り、八三年(昭和五八)十一月二二日、日  
本大通三五に新築した現在の建物に移  
転することになる(条例第四号、規則第  
一〇四号)。旧区役所は、隣接していた市  
民ホール(旧横浜宝塚劇場)とともに解  
体され、関内ホールの建設地に当てられた。  
関内ホールの壁には、横浜興信銀行当時  
からの扉が埋め込まれており、往時を偲  
ぶことができる。

【参考文献】『横浜復興誌』第三編(一九三七年)、  
『横浜市社会事業概要』昭和六年版(一九三三年)、  
『横浜社会史』第五編(一九八五年)、『横浜銀行六  
十年史』(一九八〇年)、『教育文化センターのあゆ  
み』(一九八六)、『中区のあらまし』各年、『神奈川  
新聞』、『横浜市報』 (百瀬敏夫)